

第14回 岡山CASPワークショップのご案内

近年、医薬を取り巻く情報は増大の一途です。医療従事者として、これらの情報を客観的かつ正確に評価し利用することは、質の高い医療を提供することにおいて重要なスキルとなります。医療消費者にとっても、あふれる情報の中からどれが確かなのか、また、その情報を見極めるスキルの必要性は高まっています。今回、実際の医学論文を各グループで吟味し、その適用性を考えるワークショップを企画しましたので、ぜひご参加ください。

参加者は、事前に配られたシナリオに基づいてシステムティックレビューを読み吟味し、それに基づき判断する作業をグループで行います。

CASP(Critical Appraisal Skills Programme)とは？

最良の医療を提供するためには、判断の根拠の質を見極めることが重要になります。CASPは多くの方にこのようなスキルを身に付けてもらえるよう、英国オックスフォードで市民のための健康支援活動(PHRU: Public Health Resource Unit)の一部として始まりました。医療判断のための根拠を、1.見つけだし、2.内容を吟味し、3.その結果をもとに実際に行動できるように支援することを目的としています。

参考サイト:<http://casp-japan.com/>

CASPワークショップ

日時:平成26年2月23日(日)12:00~16:30(受付11:30より)

会場:岡山大学病院

入院棟11階 カンファレンスルームG,H

岡山市北区鹿田町2-5-11

(岡山駅前からタクシー 7~10分)

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_5.html

※ **岡山大学 津島キャンパスではありません**

募集人数: 約24名(先着順)

募集対象: 医療従事者および医療の消費者(学生可)

参加費用: 2,000円

(学生:参加費2,000円は無料です。学生証提示)



目的: 自らが提供し、また自らが受ける医療内容の妥当性を判断できるようになるために、医療情報の質を見極める知識とスキルを身に付ける。

目標: 治療に関する医学情報の質を決めるポイントを挙げる事ができる。

ワークシートを用いてシステムティックレビューを吟味することができる。

方法: 小グループでの課題解決型学習に加えて、ミニレクチャーとグループ判断の共有

使用論文:

Angiotensin-converting enzyme inhibitors reduce mortality in hypertension: a meta-analysis of randomized clinical trials of renin-angiotensin-aldosterone system inhibitors involving 158,998 patients

European Heart Journal (2012) 33, 2088-2097

<http://eurheartj.oxfordjournals.org/content/33/16/2088.full>

◎ワークショップ参加には事前申し込みが必要です。

こくちへずよりお申し込みください。

<http://kokucheese.com/event/index/139931/>

※ 受付期限:2月20日(木) なお、定員になり次第締め切らせて頂きます。

お問い合わせ先:OCA 事務局 okayamaca@gmail.com

主催: OCA(Okayama Critical Appraisal)

共催: CASPJapan